

I 実践

1 研究主題

一人一人が人権尊重の自覚をもち、認め合い、助け合う子どもの育成

(1) 主題設定の理由

本校の教育目標は、「確かな学力をもち、たくましく生き抜く創造性豊かな実践人を育成する。」であり、目指す児童像は、「よく考え進んで学ぶ子」「明るく思いやりのある子」「心身ともにたくましい子」である。これらを受け、本校の人権教育の目標は、「好ましい人間関係をつくり、誰に対してもわけへだてしない子どもの育成」「自分から進んで学習し、物事についての正しい見方・考え方を身につけた子どもの育成」「集団活動を通して、お互いに認め合い、助け合う子どもの育成」としている。近年、本校の児童は、比較的落ち着いた学校生活を送ることができており、きまりなども遵守していこうとする姿が多く見られるようになってきた。一方で「なぜ、そうすることが必要なのか。」をよく考えずに友だちと関わり、うまく解決できない姿も見られた。そこで、人権について再認識することでお互いを大切にすることのできる児童の育成を目指し、本主題を設定した。

(2) 研究内容

- ア 人権を尊重する人間関係づくり
- イ 人権を尊重する学習活動の推進
- ウ 人権を尊重する環境づくり



2 実践内容

(1) 人権を尊重する人間関係づくり

《ふれあいタイム》

～お年寄りと昔遊び～

- ア 縦割り班活動による異学年交流

「たがまわし」

「竹馬」

各クラスを12班に分けて縦割り班を作り、年間計画のもほぼ毎月1回異学年で遊んで交流を図っている。また、その際に地域の方の協力も仰いで昔遊びも行うことで、お年寄りとの交流も図っている。幅広い年齢層で遊ぶことで、思いやりたり見て習ったりする態度を育てる機会になっている。

イ Q・U テストの活用

学級集団全体の状態や特別に支援の必要な児童を把握して適切に働きかけることができるように、高学年はQ・Uテストを実施している。5月の実施結果をもとに、その後の対策を立てて行い、11月に再度テストを実施して変容を検証した。これらを教育相談に役立て、望ましい人間関係づくりに生かすことで人権を尊重する心を養った。

ウ あいさつ運動

年間を通して「お先にあいさつ」を合言葉に、登校時にクラスごとや運動委員会を中心に児童の自主性を尊重しながら全校であいさつ運動に取り組んでいる。あいさつの声が校内に響くことで元気な雰囲気があふれ、だれでも知り合いのような明るい学校になってきた。また、1年生が隣接する幼稚園にも朝のあいさつに行き、幼稚園児にも明るい雰囲気を伝えることができた。



《朝のあいさつ運動》

(2) 人権を尊重する学習活動の推進

ア いのちの教育 (2年生・4年生)

保健師さんをお呼びして、保護者とともに生命の神秘やいのちの尊さについて学習した。学習後のアンケートの結果、命の大切さや親の願い、誕生した時の周囲の喜びなどを知り、自尊意識を高めるとともに自分以外の人も大切にしようとする心が育った。

イ 道徳の授業公開

学習公開日に各クラス1年間に1度は道徳の授業を公開している。また、今年度はこれを通して保護者に道徳教育の必要性を理解してもらうとともに人権教育の啓発にも努めた。

(3) 人権が尊重される環境づくり

ア 幼稚園との交流による掲示物

昇降口前のピロティのガラス扉に、1年生が生活科で作った季節の掲示物を貼っている。その中には、幼稚園に贈ったアサガオの苗のお礼のお手紙も一緒に掲示した。登校してすぐに温かい気持ちになれる。



イ 「人権メッセージ」の取り組み

《幼稚園からのお礼の手紙》

道徳の時間や夏休みを活用して、家庭にも協力してもらいながら全校で取り組んだ。その後、12月の人権週間に合わせてもう一度メッセージを書かせてクラス代表以外も各クラスのコーナーに掲示し人権に対する意識を高めた。

ウ 心に響く言葉の掲示

昇降口の下駄箱の上にミニ額を飾り、その中に図書室の心に響く言葉の本から学年1つを選んで飾った。通るたびに目につくことで、自然と温かい言葉が心にしみていくように工夫した。



《下駄箱の上のミニ額》

3 成果

- (1) ふれあいタイムなどの縦割り班活動を通して、上級生が自然と下級生に心くばりをし、下級生は上級生を手本とする態度が生まれてきた。心のふれあいが学校に温かい雰囲気を作り出している。また、あいさつを通して優しい言葉かけができるようになってきた。
- (2) 道徳や総合的な学習の時間を通して、家庭を含めて自分も自分以外の人も尊重する態度が養われてきた。継続したり繰り返し学習したりすることで定着が深まっている。
- (3) ふだん目にする環境を整えることで、自然に人権意識が育つことがわかった。

II 今後の課題

教職員の人権意識の向上も不可欠であるので、校内研修などをさらに充実させて、継続的に人権意識を養っていききたい。また、子供たちに芽生えてきた自他ともに大切にする気持ちをさらに育てていきたい。

III 人権コーナーの設置の様子

前述のように特別には設けず、校内のそこそこに人権を育てる環境を用意した。例えば、玄関前のピロティ、階段の壁面、体育館のロビー、オープンスペース、図書室など必要に応じて全校で心を育てる環境を整えている。